

読書

しんがり

清武 英利著

心動かされる人間ドラマ



講談社 1,890円

1997年11月、四大証券の一つ、山一証券が自主廃業した。原因は突如発表された2600億円という巨額の簿外債務。本書は同社の終焉に際し、簿外債務の真相究明に取り組んだ十数人の動きを描いたものだ。

物語は同年4月、大蔵省(当時)証券取引等監視委員会が同社に乗り込むところから動き出す。訪れたのは通常の検査とは

異なる特別調査課という部隊。受けたのは社内の不正行為の調査を行う業務監理本部。硬骨漢で傍流の常務が就任した直後のことだった。異常な事態に常務ら業務監理本部の数人は不審を抱き、上層部に尋ねる。だが、何も情報が出てこない。手をこまねく間に会社は破綻に追い詰められていく。いったい山一に何が起きているのか。

本書の骨格は経済事件だが、読み物としてそれ以上の面白さがある。前半は破綻に至るまで、後半は破綻後に簿外債務の謎に迫っていく。個々の人物造形も無駄なく記され、読者は映画を見るように臨場感を味わえる。

特に簿外債務が蓄積されてきた謎を追う過程では、思わぬキーマンの協力などで、何重にも覆い隠されていた真相にたどり着く。そのスリルは本格推理小説のようでもある。ただし、明らかにになった内情のずさんさには、同社の破綻を同時代で目にしてきた人でも少なからぬ驚きがあるはずだ。かつて「人の山一」と異名を

とった同社だが、社を腐らせたのは経営陣や花形部署で、最後の真相究明で意地を見せたのは地味で武骨な支店筋の人間だった。外形的事実とは既知の話かもしれないが、内部で起きていたドラマの細部には心を動かされるだろう。

そもそも著者の関心は「破綻後の真相究明」という一文にもならない作業に、なぜ一部の社員が従事したのかという動機にあった。著者は長年所属した新聞社の主筆に反旗を翻した経験をもつ。取材の過程は、著者自身への問いかけではなかったかとみると、別の味わいも出てくる。(森健・ジャーナリスト)

誕生日を知らない女の子

黒川 祥子著

虐待の悲劇から問う社会



集英社 1,680円

感情のスイッチを切ってプレーカーを落とさない限り耐えられないほどの虐待。それが繰り返される舞台が家庭という密室であるからこそ、そこに生きる者の声は壁の中に閉ざされる。経験が長引くほど、私的空間は「恐怖の館」「拷問のような家」へと化していく。過酷な子ども期を振り返った女性は「自分は生き地獄に生まれ

てきたと思っている」と言葉にする。本書は、虐待にさらされた子どもがいかに生き延びてきたか、5人の経験を暮らしの中から丹念に描いたノンフィクションである。増加し続ける児童虐待は、事件となり報道されることで可視化される。だが、まもなく風化し、繰り返される。これ以上、悲劇を起こさないため

に何ができるのか。子ども、そして彼らを支える人々の生の声が、このことを問いかける。

実の親からの遺棄や性的虐待、継親による暴力や育児放棄、見知らぬ人からのレイプ―これは、一人の少女が実際に直面した人間の世界だ。しかし、閉ざされた空間では、虐待を通じて形成された養育者との「絆」が、どんな形でも愛着が必要な子どもには「馴染みの世界」となる。後遺症の影響が持続すれば、対人関係や自尊心も侵襲され、社会への扉も閉ざされてしまう。「不利の雪だるま」になる前に、支えが必要だ。

たる愛知県の病院では、診察室を訪れる親の多くが元被虐待児で、とりわけ性的虐待による後遺症が深刻だという。ここで描かれる子どもの現実、親の幼少期の映し鏡ともなっている。

だが著者は、同時に希望も語る。「本来の家庭」のように被虐待児を受け入れる「ファミリーホーム」で彼らは本来の笑顔を取り戻す。ある里親は、根を張れる場所があるかが希望への分かれ道だ、と言う。そのような場をどう創造していいのか。血縁という枠を超えて、子育てを担う人々を支える基盤整備が緊急の課題である。(湯沢直美・立教大教授)

お嬢さん、空を飛ぶ

松村由利子著

「新しい女」象徴した飛行



NTT出版 2,520円

タイトルをみると、空を飛ぶ飛行機に憧れを抱いたお嬢さんの物語かと思われるが、それほど簡単な内容ではない。歌人で科学ジャーナリスト賞も受賞した著者の取材の出発点は、与謝野晶子が雑誌「女学世界」(1917年1月号)に寄稿した「ス嬢の自由飛行を観て」と題する文章だった。

「ス嬢」とは誰か。調べると、本名はキャサリン・スティンソン、米国でも当時珍しかった女性パイロットで、16年に来日し、大空を飛んで人々を魅了していた。しかし、この事実を確かめたのは端緒にすぎない。当時の日本は、女性パイロットはおろか、女性が社会的に活躍できる職業に就ける分野は看護婦や新聞記者などごく限られ

ていた。そのような国にわずか19歳(実は25歳だった)の「ス嬢」が突如現れ、「新しい女」を象徴するような航空飛行をみせたのだから、影響は大きかった。

同年代の女性が彼女にたくさんファンレターを送ったのもうなずける。同時代の女性記者がみずからも空を飛んでみたいと好奇心に駆られたとしても不思議ではない。新聞各社が飛行機に注目したのは、大きな事件や自然災害などの取材に必須の武器になると確信したからだ。当時はまだ危険を伴った飛行機に乗った「勇ましい」女性の先駆けが新聞記者であったことは驚きである。もちろん、当時は女性とし

ての限界もあった(2等飛行機操縦士の免許までしかとれないなど)。

そして32年、海の向こうでは、多くの限界を乗り越え、アメリカ・エアハートのように、大西洋の単独横断飛行を成し遂げた女性も現れた。本書を読むと、その時代から現代の女性宇宙飛行士への道のりが連続しているように思えてくるから不思議である。「ス嬢」から始まった著者の探検が、古巣の新聞社に回帰していく展開も興味深い。単なる女性パイロット物語ではなく、ジャーナリズムと女性史とが交差する物語に仕上がっているのが秀逸である。(根井雅弘・京都大教授)

新刊紹介

バカの壁のそのまた向こう 養老孟司著
解剖学者で、虫好きとしても知られる著者が、地元鎌倉や昆虫採集のために訪れた地で感じたことなどを通じ、現代人が忘れてしまった自然との関係に鋭く切り込む。

向こう

2009年13年にかけて、月刊「かまくら春秋」に連載した「養老先生の虫メカネ」全55回をまとめた。(かまくら春秋社、1470円)

人権は国境を越えて

伊藤和子著
弁護士著の著者は、北京で開かれた世界女性会議に非政府組織(NGO)の一員として参加し、海外で深刻な人権侵害が続いていることを知る。

JENGA

レズリー・スコット著 雨宮寛 今井章子訳
「私がジェンガを作った」と言いつつ、このゲームを知っている人はたいして驚く。そんな書き出しで第1章が始まる本書は、誰でも思いつきそうなアイデアを商品化し、世界中の家庭で愛される玩具に育てた英国人女性の自伝だ。

著者は決して超人的な起業家ではない。世間知らずの面があり、発案権をいつのまにか友人の弟らに奪われるなど失敗も多い。それでも前向きに実績を積み上げていくことこそ、姿はどこかジェンガのゲームと似ていて、話に引き込まれる。

(東洋経済新報社・2310円)

教育・教室

「音楽」無料体験教室
歌うために必要な呼吸法を学び、簡単な曲を歌い
日時 相談のうえ決定します。土曜日・日曜日
前11時〜午後8時の間の40〜60分 会場 ゆうゆう室(山梨市小原西1-147-15) 講師 中村 中
歴史文化教室 山梨の歴史研究最前線
①1月18日(日) 古代の埼玉 甲斐国(講師)平野修
②2月8日(日) 山梨研究の最前線(講師)坂本 生
③3月22日(日) 長篠合戦再考(講師)平山 生
時間 午後1時30分〜午後3時30分 会場 BSホール 受講料 各1回1,500円(5回6,000円)

旅行

なばなの里イルミネーション
日時 2月16日、3月9日(日) 午前10時〜午後11時30分 3時30分〜計4時間 会場 ふじの里リゾート(南都留郡鳴沢村) クラス ①小学生500円(小学生以上) ②中学生以上9,000円(用具持ち込み) ③中学生以上9,000円(用具持ち込み) ④7,000円(用具持ち込み) レポート代を含みます。 ※雪不足・悪天候など開演できない場合があります
中高生ダイエツト講座 漢方で元気・キレイ! 「無料体験教室」内臓脂肪や血管年齢などの測定
日時 相談のうえ決定します。午前10時〜午後3時の間の45分
③1日講座 ④2日 相談のうえ決定します。10時〜午後5時の間の60分(週一回 曜日・時間不定) 受講料 12,600円(3日間)

会と催し

「お申し込み・お問い合わせ」山梨文化化学園
055-1231-3090 甲府市北口2-6-1
梨文化会館(東山) 午前10時〜午後5時(日曜・祝日)
ホームページ 山梨文化化学園 検索もご覧ください
(講座要目) 山梨文化化学園の全講座(体験教室、特別講座は除く)が見学可能です。事前にご連絡

会と催し

ブライダルセミナー「マネー編」
結婚を機にライフプランを見直したい、考えたい、何から始めればよいかを聞いて、お金の保障などの「お金のハナシ」について、新婚夫婦、結婚を控えたカップル、そして「両親も含めませんか。参加無料。お茶・お菓子付き」
(日) 午後1時半〜 甲府富士屋ホテル(甲府市) 定員 50名(参加申し込み) ①氏名 住所 電話番号 年齢 参加人数を明記し、山梨S事務局「ブライダルセミナー」係へ。(ハガキ) 400-8515 甲府市北口2-6-10 (フアク) 055-231-3107 (メール) 88@scs.jp
合わせ 同事業局 055-231-3121
催 山梨日日新聞社、山梨放送

旅行

なばなの里イルミネーション
日時 2月16日、3月9日(日) 午前10時〜午後11時30分 3時30分〜計4時間 会場 ふじの里リゾート(南都留郡鳴沢村) クラス ①小学生500円(小学生以上) ②中学生以上9,000円(用具持ち込み) ③中学生以上9,000円(用具持ち込み) ④7,000円(用具持ち込み) レポート代を含みます。 ※雪不足・悪天候など開演できない場合があります
中高生ダイエツト講座 漢方で元気・キレイ! 「無料体験教室」内臓脂肪や血管年齢などの測定
日時 相談のうえ決定します。午前10時〜午後3時の間の45分
③1日講座 ④2日 相談のうえ決定します。10時〜午後5時の間の60分(週一回 曜日・時間不定) 受講料 12,600円(3日間)